

「 土砂災害でのけが人を少なくするためにできること 」

三重県 四日市市立西笹川中学校 2年

皆さんは土砂災害のニュースを見たことはありますか？二〇二三年七月一三日に富山県南砺市で南砺市議会議員の赤池伸彦さんは大雨が降る中、非難ができていない住民に声かけを行っていた際に土砂崩れに巻き込まれてしまい亡くなるという土砂災害が起きました。私がこのニュースを知ったのはテレビを見ている時でした。私なら赤池さんのように自分の命を削ってまで人を助けることができないと思いました。なので、私は土砂災害防止について考えることにしました。

土砂災害とは山やがけがくずれたり、くずれた土砂が雨水や川の水と混じって流れたりすることによって人の命が奪われたり、ものを押しつぶしたりする災害のことです。土砂災害は大きく土石流・地すべり・がけ崩れの三つに分類することができます。南砺市で起きた土砂災害は三つのうちどれかわかりませんが、土石流は大雨などが原因で山や谷の土・石・砂などが崩れ水と混じってどろどろになり一気に流れ出てくる現象で、地すべりは広い範囲にわたってすべり落ちていく現象で、がけ崩れは急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。このように土石流・地すべり・がけ崩れはすべてとても危険な災害です。危険だからこそきちんと考えながら行動しなければいけません。誤った行動をしてしまうと自分だけではなく、周りの人にも被害が及ぶ可能性があるからです。赤池さんのように人を助けようとする人が増えることはいいことだと思います。ですが、まだ土砂災害でのけが人や死者が出ているというニュースをたまに見るので私はまだ中学生なのでできることは少ないと思いますが少しでも土砂災害でのけが人や死者を減らすために何ができるか考えてみました。一つ目は、自分の住んでいる地域が土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所であるかどうか近くに避難場所、避難場所までの経路などを確認することです。土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所であるかどうかを確認できていないときに大雨が降ったとき、自分の住んでいる地域が土砂災害警戒区域だった場合、自分の身に危険が迫る可能性があるからです。そのようなときが起こったときに避難場所、避難場所までの経路を知っておくと災害時に役立ちます。二つ目は、雨が降り出したらテレビなどスマートフォンなどで土砂災害警戒情報を注意することです。雨が降ったときは都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報があるのでときどきチェックしたほうが良いと思います。三つ目は、どこが安全でどこが危険な場所が分かっていないときは自分勝手な行動をしないことです。緊急時に自分勝手な行動をしてしまうと自分自身がパニックになってしまったり、周りの人も心配したりする可能性が高くなると思ったからです。三つ目までは自分でもできる土砂災害防止になるのですが四つ目は、自分ではできないことです。土砂災害を防止できることを調べてみました。土石流災害を防止するためには、土石流が流れてきたときに砂防堤防という壁のようなものに土砂をためこみ土石流を止めて災害を防ぐ方法があります。地すべり災害を防止するためには、表面排水路工という雨水や雪どけ水が地面にしみこまないうちに地表で集めて地すべり地の外へ流すための水路を作り、災害を防ぐ方法があります。がけ崩れ災害を防止するためには、擁壁工というがけ崩れの危険がある斜面をコンクリートの壁でおさえたり、くずれてくる土砂を受け止める壁や柵を斜面から少し離れたところにつくったりする工事でも災害を防ぐ方法があります。

土砂災害は自然災害なので減ることはないと思います。だからこそ、自分たちでどれだけ対策をできるかが大事になってくると思います。私は、赤池さんのニュースを見るまではあまり土砂災害のことがわかりませんでした。でも、このニュースがきっかけで土砂災害のことに深く知ることができました。赤池さんのように人を助けようとする気持ちがあることはとてもいいことだと思いますが、まずは自分の命を守ることが大事だと思います。